

令和5年（2023年）の十和田の火山活動

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

2月に低周波地震が発生しました。2月や7月に火山性地震の一時的な増加がみられたものの、その他の期間は概ね低調で、火山活動は静穏に経過しました。

○ 噴火警報・予報の状況、2023年の発表履歴

2023年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

○ 2023年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1）

銀山監視カメラによる観測では、噴気や湖面の異常等は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図2、図3）

2月1日、9日に低周波地震が発生し、13日から14日にかけて火山性地震が一時的に増加しました。また、7月6日には火山性地震が一時的に増加し、日別回数は139回となりましたが、低周波地震は観測されず、その他の観測データにも、変化はみられませんでした。

その他の期間は、火山性地震は少ない状態で経過しました。今期間、火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図4、図6）

十和田周辺の一部のGNSS基線では、2023年前半から大川岱観測点の西方向への変位によるものとみられるわずかな変化が認められていましたが、7月頃から鈍化しています。



図1 十和田 中湖周辺の状況（8月23日）

・銀山監視カメラ（中湖の北西約6km）の映像です。

噴気や湖面の異常等は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています。

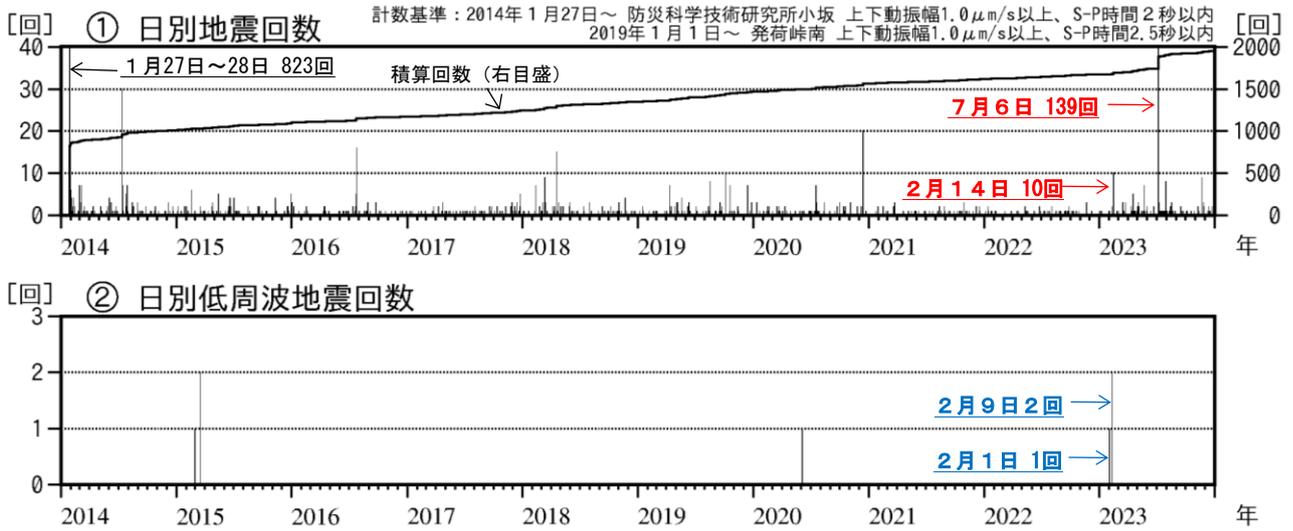


図2 十和田 日別地震回数 (2014年1月~2023年12月)

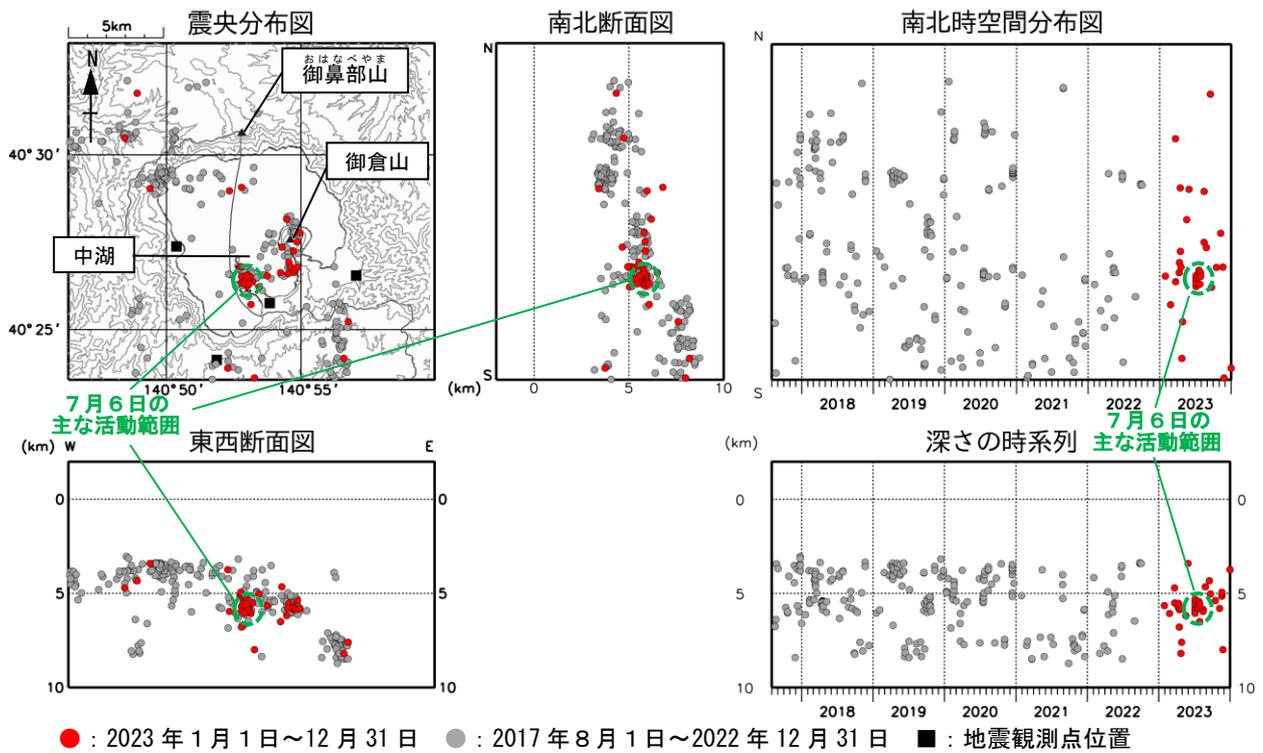


図3 十和田 地震活動図 (2017年8月~2023年12月)

低周波地震が2月1日に1回、9日に2回発生し、13日から14日にかけては火山性地震が一時的に増加しました。

7月6日には火山性地震が一時的に増加し、日別回数は139回となりました。震源は中湖付近の深さ6km付近と推定されました。低周波地震は観測されず、その他の観測データにも、この地震活動に伴う変化はみられませんでした。

十和田では、これまでも深さ5km前後での地震が発生しています。

その他の期間は、火山性地震は少ない状態で経過しました。今期間、火山性微動は観測されませんでした。

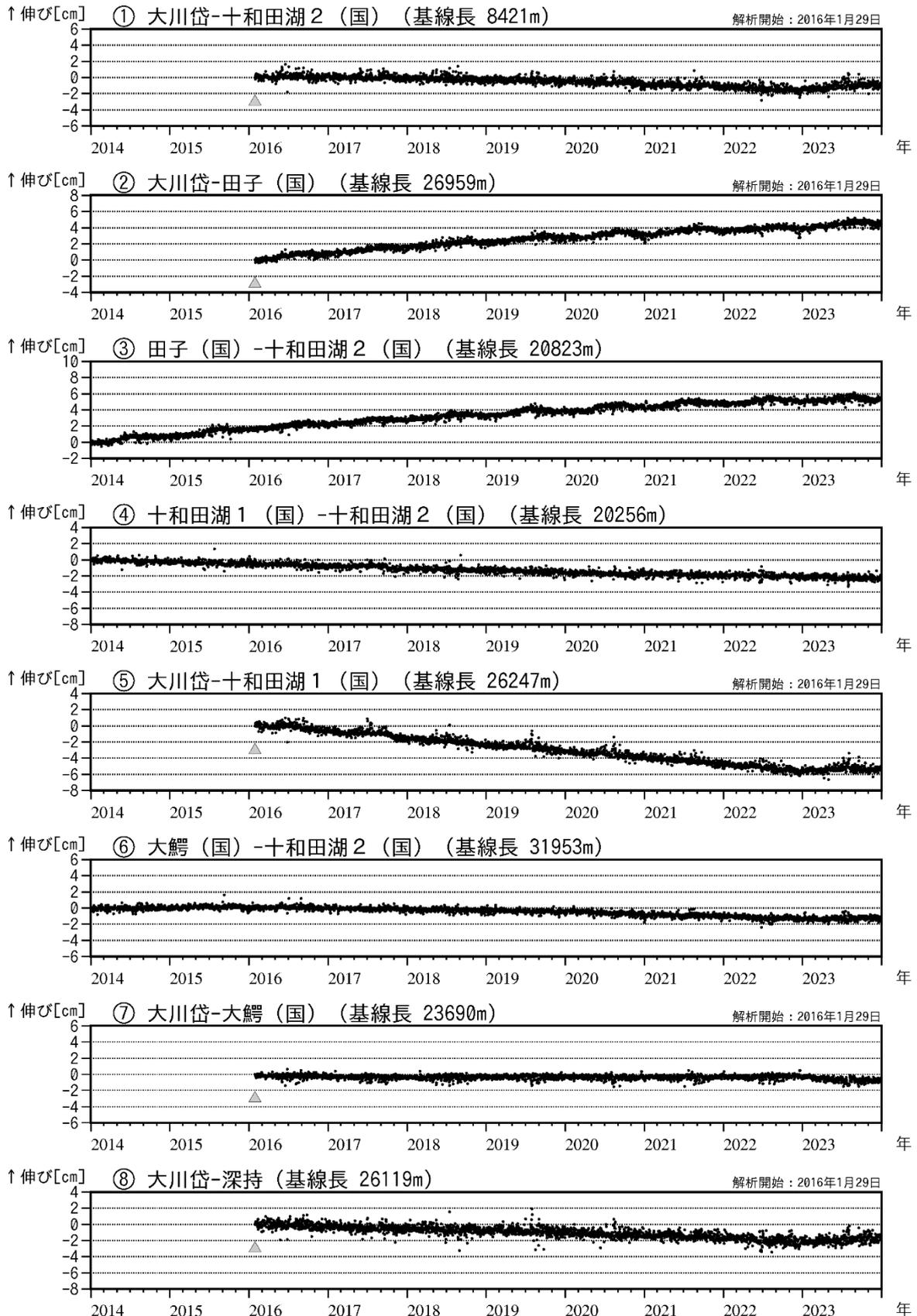


図4 十和田 GNSS 基線長変化図 (2014年1月~2023年12月)

- ・①~⑧は図6のGNSS基線①~⑧に対応しています。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。
- ▲: 解析開始を示します。

十和田周辺の一部のGNSS基線(①⑤⑦)では、2023年前半から大川岱観測点の西方向への変位によるものとみられるわずかな変化が認められていましたが、7月頃から鈍化しています。

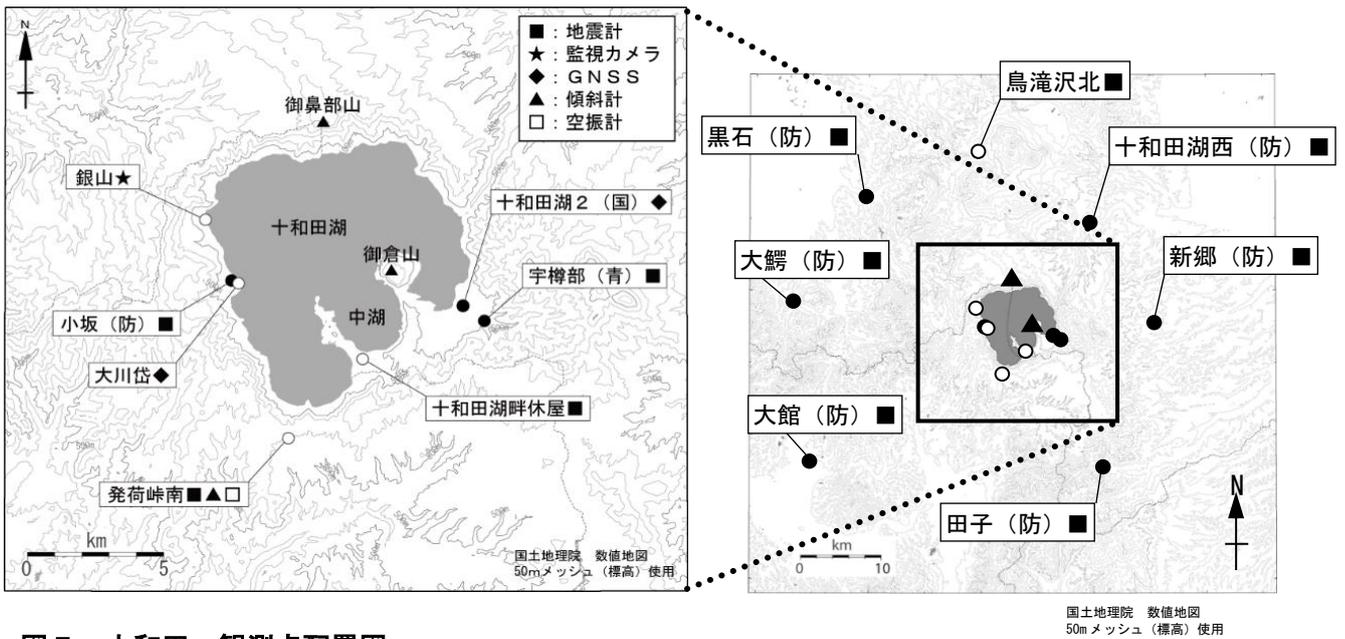


図5 十和田 観測点配置図

白丸 (○) は気象庁、黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院 (防) : 防災科学技術研究所 (青) : 青森県

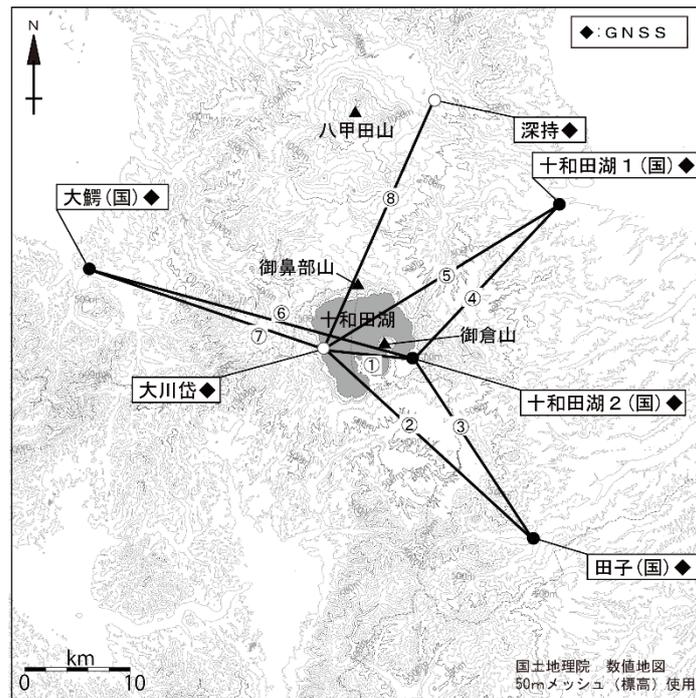


図6 十和田 GNSS 観測基線図

白丸 (○) は気象庁、黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院

表1 十和田 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		北緯	東経	標高 (m)			
地震計	発荷峠南	40° 24. 14'	140° 51. 87'	599	-83	2016. 12. 01	
	十和田湖畔休屋	40° 25. 76'	140° 53. 84'	409	-3	2016. 12. 01	広帯域地震計
空振計	発荷峠南	40° 24. 14'	140° 51. 87'	599	5	2016. 12. 01	
傾斜計	発荷峠南	40° 24. 14'	140° 51. 87'	599	-83	2016. 12. 01	
GNSS	大川岱	40° 27. 32'	140° 50. 56'	407	4	2016. 12. 01	
監視カメラ	銀山	40° 28. 63'	140° 49. 69'	405	4	2016. 12. 01	